

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

5月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	5月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	24	5月10月2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員の対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B		B		無				
2	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	A	使用最大電力の抑制のデマンド監視により電力削減を図った。	A	第三者への一部委託業務の複数年契約を実施。また、平成24年度に電気使用量が監視できるデマンド装置の導入などにより、さらなる経費削減に取り組んでいる。	無				
3	20	5月10月2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。 〈成果目標・指標〉 電気使用量対22年度比15%削減	ヒアリング	A	電力抑制制御(デマンド監視)により、館内の節電を実施	A	「八王子環境マネジメントシステム(LAS-E)」に沿った取り組みであるが、5月分までの対22年度比28.1%の削減は評価できる。今後も、環境負荷を軽減する取り組みを期待します。	無				
4	12	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B		B		無				
5	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	B	4教室、2イベントを開催	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、事業計画どおり実施した。今後も施設の目的に沿った取り組みを期待します。	無				
6	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、2イベントを開催	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、事業計画どおり実施した。今後も施設の目的に沿った取り組みを期待します。	無				
7	14	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無				
8	16	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行	B		無				

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

10月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	10月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	24	5月10月2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員の対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	A	避難訓練を実施	A	9月に実施した防災訓練では、昨年以上の多くの施設利用者の参加により実施された。実施にあたり、事前に施設利用者への参加の呼びかけをはじめ、円滑に訓練が実施されたこと、また、今後に向けた取り組みを確認するなど、職員の防災に対する意識の高さを評価します。	無				
2	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	A		A	電気使用量が監視できるデマンド監視装置の設置により、日頃から経費削減に努めている。	無				
3	20	5月10月2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。 〈成果目標・指標〉 電気使用量対22年度比15%削減	ヒアリング	A		A	「八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)」に沿った取り組みであるが、10月分までの電気使用量が対22年度比21.8%の削減は評価できる。また、館独自の具体的な取り組み内容を定め、環境配慮に努めている。	無				
4	12	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B	満足度調査を実施し、ご意見等の結果の改善に努める。	A	8月に実施した利用者満足度調査では、全般的な満足度の肯定的評価が100%であり、目標以上の成果があったのは、サービス向上に向けた取り組みによる成果であると評価します。	無				
5	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	B	4教室、3イベントを開催 地域包括支援センターと連携して、介護に関する出張相談会実施	B	健康体操やフラダンス教室の開催など、事業計画どおり実施した。今後も施設の目的に沿った取り組みを期待します。	無				
6	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、3イベントを開催、文化祭を開催	B	文化祭では、サークル団体などの日ごろからの成果である書道や手芸などの作品展、大正琴などの演奏発表会などが多くの参加者により開催された。今後も施設利用者のニーズを捉えた催しを期待します。	無				
7	14	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無				
8	16	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行	B		無				

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

2月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	2月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価			改善プラン		所管課確認	
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	24	5月10月2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員の対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B		B		無				
2	18	5月10月2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	A		A	電気使用量が監視できるデマンド監視装置の設置により、日頃から経費削減に努めている。	無				
3	20	5月10月2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。 〈成果目標・指標〉 電気使用量対22年度比15%削減	ヒアリング	A		A	館独自の具体的な取り組み内容を定め、環境配慮に努めている。電気使用量も対22年度同月までで18.9%の減となっており、成果をあげている。	無				
4	12	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	B		B	利用者の意見を取り入れ、改善できる事項は館運営に反映するなど、利用者の満足度も高い。	無				
5	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	A	4教室、4イベントを開催、地域包括支援センター長房と連携し、介護予防講座を新規開催	A	当初計画していたものではあるが、地域包括支援センターと連携し、施設の設置目的も踏まえた講座を実施したことは評価できる。	無				
6	21	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	4教室、4イベントを開催	B	計画的に講座や教室を開催し、利用者増に努めている。	無				
7	14	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B		B		無				
8	16	5月10月2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B	長房ふれあい館だよりの発行	B		無				

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名:長房ふれあい館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所 管 課 年 間 評 価			備 考
						評価区分	コ メ ン ト		
1	24	5月 10月 2月	安全安心・危機管理	【防犯・防災対策】 事故や災害等に備え、緊急時マニュアルに基づく職員の対応を周知・徹底するとともに、避難誘導訓練等を実施する。	月報 ヒアリング	B			
2	18	5月 10月 2月	効果効率的な施設の管理運営	【経費の削減】 契約方法など委託業務の見直しや消耗品等の計画的な購入によりコストの削減を図る。	月報 ヒアリング	A	委託業務の見直しやデマンド監視装置を活用した電気使用量の抑制は、経費削減につながっており、効果的な施設の管理運営につながっていると認められる。		
3	20	5月 10月 2月	環境配慮	【エコ活動】 資源の有効活用や省エネルギー対策など、LAS-Eに準拠した取り組みを実践し、環境負荷を軽減する施設運営に努める。 〈成果目標・指標〉 電気使用量対22年度比15%削減	ヒアリング	A			
4	12	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上①】 利用者満足度調査の実施やご意見箱の設置など、利用者のニーズの把握に努め、その結果を館の運営に反映していく。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング 利用者満足度調査	A	10月に実施した利用者満足度調査では、全般的な満足度の肯定的評価が100%に達し、目標以上の成果があった。サービス向上に向けた取り組みによる結果であると認められる。		
5	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上②】 地域包括支援センター等と連携し、介護予防や健康づくりの視点での自主事業を企画・実施していくとともに、人と人がつながりあえる場として、高齢者の孤立化の防止にも寄与できる館の運営を行う。 〈成果目標・指標〉 肯定的評価が95%以上	月報 ヒアリング	A	地域包括支援センターと連携した講座や相談会の開催は、施設の設置目的を十分踏まえたものであり、多くの参加者を得ている。社会福祉法人である指定管理者の特色を活かしながら利用者へのサービス向上に努めており、成果も上がっていると認められる。		
6	21	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進①】 講座や教室の開催など、施設の目的に添った自主事業の充実を図る。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B			
7	14	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進②】 和室等の娯楽設備など、設置している器具や設備の充実を図り、よりご利用いただける施設づくりに取り組んでいく。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B			
8	16	5月 10月 2月	サービス向上・利用者増	【利用促進③】 ホームページや広報紙の活用、また各種団体への利用呼び掛けなど、利用率向上に向けたPRを行っているか。 〈成果目標・指標〉 指定期間における利用率の10%増	月報 ヒアリング	B			